

医薬品情報セミナー

責任者・コーディネーター	情報薬科学分野 西谷 直之 教授		
担当講座・学科(分野)	情報薬科学分野、地域医療薬学分野		
対象学年	5	区分・時間数	講義 18 時間
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

医薬品情報セミナーは、薬物の適正使用に必要な情報の収集・加工・提供のための知識と技能の習得を目指す。この科目は、5 学年までに学習した薬物治療や医薬品情報の知識をより深く理解するとともに、医薬品情報取り扱いの実践的能力を形成する。また、科学的根拠に基づく医療を実践する医療従事者として、最新の情報を得る必要性について理解を深める。

・教育成果（アウトカム）

医薬品添付文書やインタビューフォームなどの医薬品情報と患者情報について理解し活用するための知識と技術を修得し、薬物治療の薬学的管理への基盤が形成される。また、グループワークを通して個々の責任を果たす意義を理解し、自身の役割と責任を理解して医療チームに参加できる態度が身につく。
(ディプロマ・ポリシー：4, 6)

・到達目標（SBO）

1. 医薬品を使用したり取り扱う上で、必須の医薬品情報を列挙できる。(758)
2. 医薬品情報に関わっている職種を列挙し、その役割について概説できる。(759)
3. 医薬品（後発医薬品等を含む）の開発過程で行われる試験（非臨床試験、臨床試験、安定性試験等）と得られる医薬品情報について概説できる。(760)
4. 医薬品の市販後に行われる調査・試験と得られる医薬品情報について概説できる。(761)
5. 医薬品添付文書（医療用、一般用）の法的位置づけについて説明できる。(766)
6. 医薬品添付文書（医療用、一般用）の記載項目（警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意など）を列挙し、それらの意味や記載すべき内容について説明できる。(767)
7. 医薬品インタビューフォームの位置づけと医薬品添付文書との違いについて説明できる。(768)
8. MEDLINE などの医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、検索できる。(770)
9. 目的（効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など）に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。(技能) (769)
10. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。(技能) (772)
11. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。(773)
12. EBM の基本概念と実践のプロセスについて説明できる。(774)
13. チーム内で個人の責任を果たすことができる。(技能) ☆

・講義日程

(矢) 西 201 2-A 講義室、東 301 3-A 実習室、東 301 3-B 実習室

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
----	----	----	-------	------	-----------

2/16	火	1	情報薬科学分野	西谷 直之 教授	<p>総論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品を使用したり取り扱う上で、必須の医薬品情報を列挙できる。 2. 医薬品情報に関わっている職種を列挙し、その役割について概説できる。 3. 医薬品（後発医薬品等を含む）の開発過程で行われる試験（非臨床試験、臨床試験、安定性試験等）と得られる医薬品情報について概説できる。 4. 医薬品の市販後に行われる調査・試験と得られる医薬品情報について概説できる。 5. 医薬品添付文書（医療用、一般用）の法的位置づけについて説明できる。 6. 医薬品添付文書（医療用、一般用）の記載項目（警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意など）を列挙し、それらの意味や記載すべき内容について説明できる。 7. 医薬品インタビューフォームの位置づけと医薬品添付文書との違いについて説明できる。 <p>事前学習：実務実習で習得した医薬品情報の収集、加工、提供の方法を復習しておく。</p> <p>事後学習：なし（次回と連続した講義のため）</p>
2/16	火	2	情報薬科学分野 地域医療薬学分野	西谷 直之 教授 松浦 誠 特任教授	<p>指定疾患に関わる医薬品情報の収集・加工 1</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. MEDLINE などの医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、検索できる。 2. 目的（効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など）に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。（技能） 3. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。（技能） 4. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。 5. EBM の基本概念と実践のプロセスについて説明できる。 6. チーム内で個人の責任を果たすことができる。（技能）☆ <p>【グループワーク】</p>

					<p>事前学習：なし（前回と連続した講義のため）</p> <p>事後学習：講義を振り返り、資料をまとめておく。</p>
2/18	木	1	情報薬科学分野 地域医療薬学分野	西谷 直之 教授 松浦 誠 特任教授	<p>指定疾患に関わる医薬品情報の提供 1</p> <p>1. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。</p> <p>2. EBM の基本概念と実践のプロセスについて説明できる。</p> <p>3. チーム内で個人の責任を果たすことができる。（技能）☆</p> <p>【グループワーク】【プレゼンテーション】【ICT (moodle)】</p> <p>事前学習：前回作成した資料について、情報提供できるようにしておく。</p> <p>事後学習：なし（次回と連続した講義のため）</p>
2/18	木	2	情報薬科学分野 地域医療薬学分野	西谷 直之 教授 松浦 誠 特任教授	<p>指定疾患に関わる医薬品情報の提供 1</p> <p>1. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。</p> <p>2. EBM の基本概念と実践のプロセスについて説明できる。</p> <p>3. チーム内で個人の責任を果たすことができる。（技能）☆</p> <p>【グループワーク】【プレゼンテーション】【ICT (moodle)】</p> <p>事前学習：なし（前回と連続した講義のため）</p> <p>事後学習：授業を振り返り、資料をまとめておく。</p>
2/22	月	1	情報薬科学分野 地域医療薬学分野	西谷 直之 教授 松浦 誠 特任教授	<p>指定疾患に関わる医薬品情報の収集と加工 2</p> <p>1. MEDLINE などの医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、検索できる。</p> <p>2. 目的（効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など）に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。（技能）</p> <p>3. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。（技能）</p>

					<p>4. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。</p> <p>5. EBM の基本概念と実践のプロセスについて説明できる。</p> <p>6. チーム内で個人の責任を果たすことができる。（技能）☆</p> <p>【グループワーク】</p> <p>事前学習：実務実習で習得した医薬品情報の収集、加工、提供の方法を復習しておく。</p> <p>事後学習：なし（次回と連続した講義のため）</p>
2/22	月	2	情報薬科学分野 地域医療薬学分野	西谷 直之 教授 松浦 誠 特任教授	<p>指定疾患に関わる医薬品情報の収集と加工 2</p> <p>1. MEDLINE などの医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、検索できる。</p> <p>2. 目的（効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など）に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。（技能）</p> <p>3. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。（技能）</p> <p>4. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。</p> <p>5. EBM の基本概念と実践のプロセスについて説明できる。</p> <p>6. チーム内で個人の責任を果たすことができる。（技能）☆</p> <p>【グループワーク】</p> <p>事前学習：なし（前回と連続した講義のため）</p> <p>事後学習：グループワークを振り返り、資料をまとめておく。</p>
2/24	水	1	情報薬科学分野 地域医療薬学分野	西谷 直之 教授 松浦 誠 特任教授	<p>指定疾患に関わる医薬品情報の提供 2</p> <p>1. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。</p> <p>2. EBM の基本概念と実践のプロセスについて説明できる。</p> <p>3. チーム内で個人の責任を果たすことができる。（技能）☆</p>

					<p>【グループワーク】【プレゼンテーション】【ICT (moodle)】</p> <p>事前学習：前回作成した資料について、情報提供できるようにしておく。</p> <p>事後学習：なし（次回と連続した講義のため）</p>
2/24	水	2	情報薬科学分野 地域医療薬学分野	西谷 直之 教授 松浦 誠 特任教授	<p>指定疾患に関わる医薬品情報の提供 2</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。 2. EBM の基本概念と実践のプロセスについて説明できる。 3. チーム内で個人の責任を果たすことができる。（技能）☆ <p>【グループワーク】【プレゼンテーション】【ICT (moodle)】</p> <p>事前学習：なし（前回と連続した講義のため）</p> <p>事後学習：授業を振り返り、資料をまとめておく。</p>
2/26	金	1	情報薬科学分野 地域医療薬学分野	西谷 直之 教授 松浦 誠 特任教授	<p>指定疾患に関わる医薬品情報の収集と加工 3</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. MEDLINE などの医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、検索できる。 2. 目的（効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など）に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。（技能） 3. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。（技能） 4. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。 5. EBM の基本概念と実践のプロセスについて説明できる。 6. チーム内で個人の責任を果たすことができる。（技能）☆ <p>【グループワーク】</p> <p>事前学習：実務実習で習得した医薬品情報の収集、加工、提供の方法を復習しておく。</p> <p>事後学習：なし（次回と連続した講義のため）</p>

2/26	金	2	情報薬科学分野 地域医療薬学分野	西谷 直之 教授 松浦 誠 特任教授	<p>指定疾患に関わる医薬品情報の収集と加工 3</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. MEDLINE などの医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、検索できる。 2. 目的（効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など）に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。（技能） 3. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。（技能） 4. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。 5. EBM の基本概念と実践のプロセスについて説明できる。 6. チーム内で個人の責任を果たすことができる。（技能）☆ <p>【グループワーク】 事前学習：なし（前回と連続した講義のため） 事後学習：グループワークを振り返り、資料をまとめておく。</p>
3/2	火	1	情報薬科学分野 地域医療薬学分野	西谷 直之 教授 松浦 誠 特任教授	<p>指定疾患に関わる医薬品情報の提供 3</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。 2. EBM の基本概念と実践のプロセスについて説明できる。 3. チーム内で個人の責任を果たすことができる。（技能）☆ <p>【グループワーク】【プレゼンテーション】【ICT (moodle)】 事前学習：前回作成した資料について、情報提供できるようにしておく。 事後学習：なし（次回と連続した講義のため）</p>
3/2	火	2	情報薬科学分野 地域医療薬学分野	西谷 直之 教授 松浦 誠 特任教授	<p>指定疾患に関わる医薬品情報の提供 3</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。 2. EBM の基本概念と実践のプロセスについて説明できる。

					3. チーム内で個人の責任を果たすことができる。(技能)☆ 【グループワーク】【プレゼンテーション】【ICT (moodle)】 事前学習：なし(前回と連続した講義のため) 事後学習：授業を振り返り、資料をまとめておく。
--	--	--	--	--	---

・教科書・参考書等(教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	今日の治療薬	浦部 晶夫 編集	南江堂	2017
参	病気がみえる vol.1~10	医療情報科学研究所 偏	メディックメディア	
参	薬がみえる vol. 1~3	医療情報科学研究所 偏	メディックメディア	

・成績評価方法

定期試験(80%)、グループワークへの貢献(20%)

・特記事項・その他

5 学年までに学習した薬物治療や医薬品情報関連科目を復習し事前学習とすること。必要に応じて、次回講義に用いる医薬品情報を予め収集しておく。予習すべき内容の詳細は、毎回の講義で指示する。事前学習には、1 時間を要する。事後学習には、30 分を要する。試験前の準備に 3 時間を要する。講義内でグループ学習し、必要に応じて教員からのフィードバックを受ける。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン (SONY, SVP11229EJB)	1	資料作成、講義